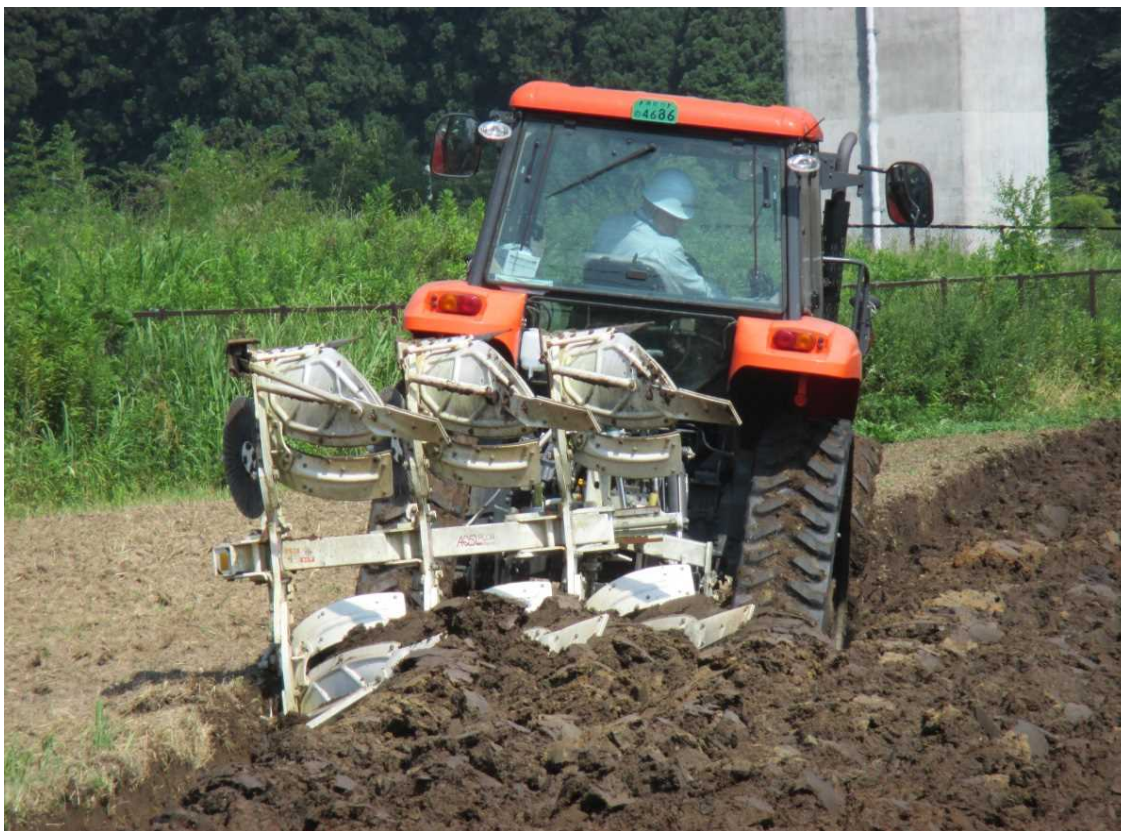


南相馬市の農地除染の結果について



平成28年度
南相馬市除染推進委員会第2回会議
平成28年10月27日(木)

南相馬市 除染対策課

原町区片倉行政区内における作業(反転耕)風景

1. 南相馬市における農地除染の進捗について

- 平成27年度末までに、全ての地域においてひとあたりの除染を完了。
- 平成27年度までの実績：
水路除染1,506km、農地除染4,071ha(23年度実施分含む)、農道除染210km
- 現在、追加的に発生した農地等の除染を進めております。

○水路除染

- ・契約名 南相馬市農地除染作業(農業用水路及び一時集積所)業務委託
- ・工期 平成26年2月20日～平成28年3月22日
- ・除染対象地域 除染特別地域を除く市内全域
- ・事業者 清水建設(株)東北支店

○農地・農道除染

- ・契約名 南相馬市農地除染作業業務委託
- ・工期 平成26年5月19日～平成28年3月22日
- ・除染対象地域 除染特別地域を除く市内全域
- ・事業者 清水建設(株)東北支店

2. 除染作業の様子(農地)

剥ぎ取り



深耕



反転耕



石礫破碎



2. 除染作業の様子(農道)

剥ぎ取り



剥ぎ取り



敷き均し



転圧



2. 除染作業の様子(農業用水路)

底質除去



小運搬



大型土のう詰込

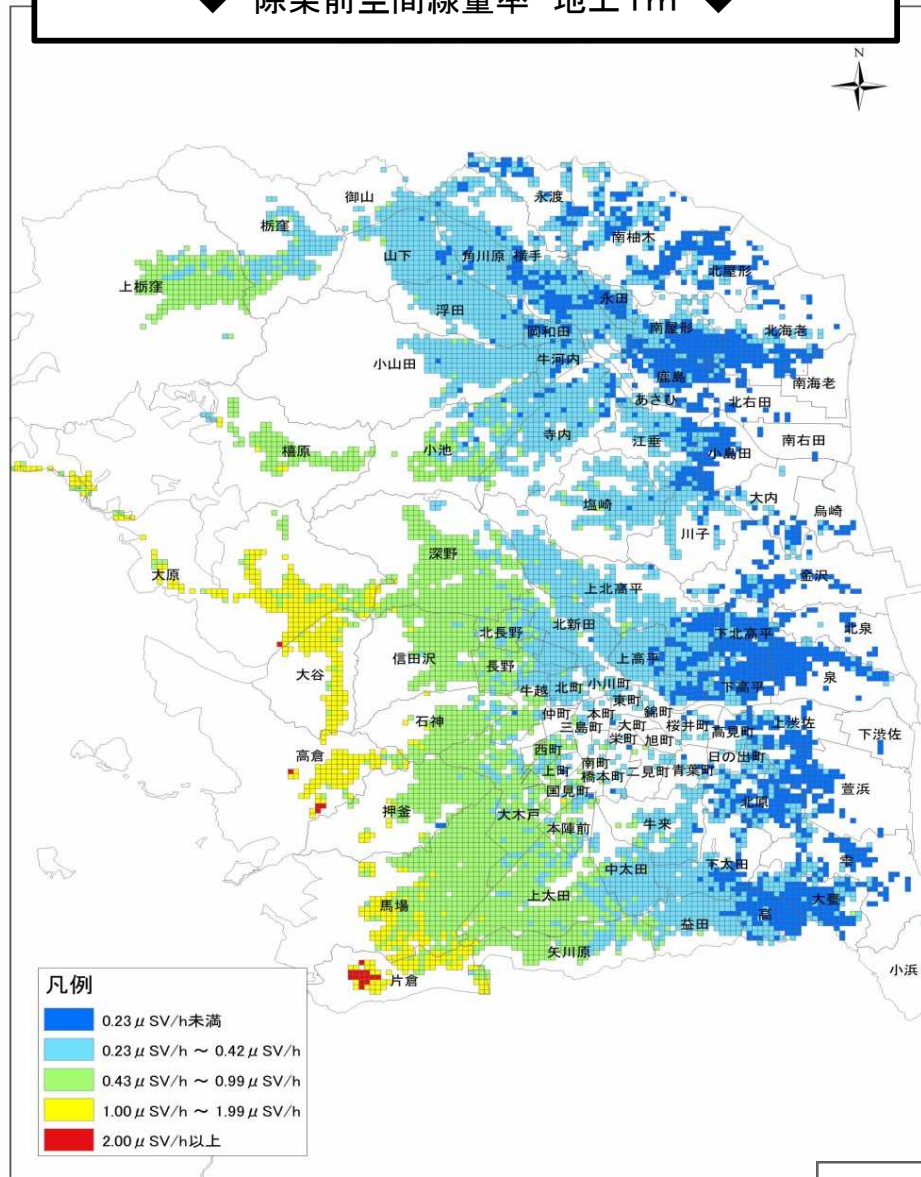


ユニック積込

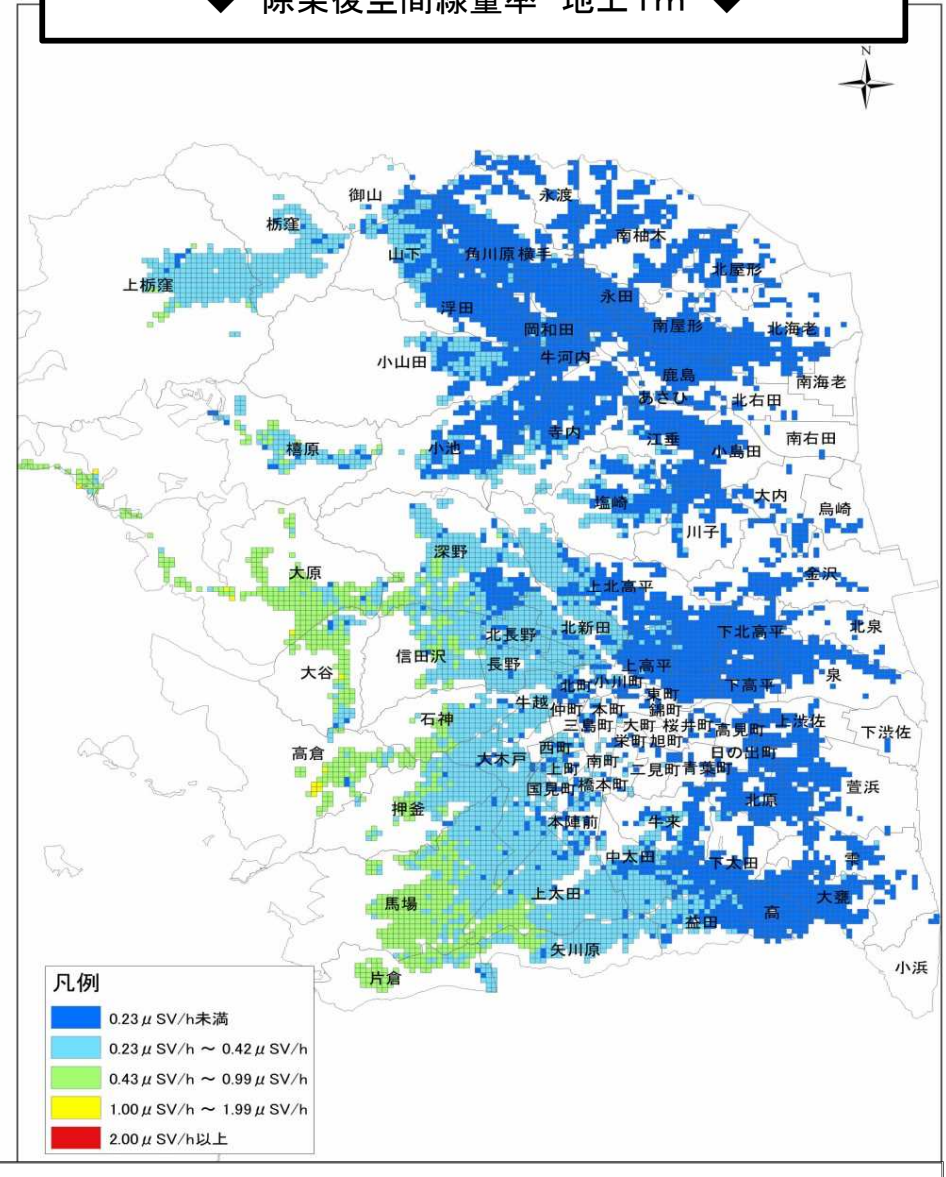


3. 農地除染モニタリング除染前後比較

◆ 除染前空間線量率 地上1m ◆

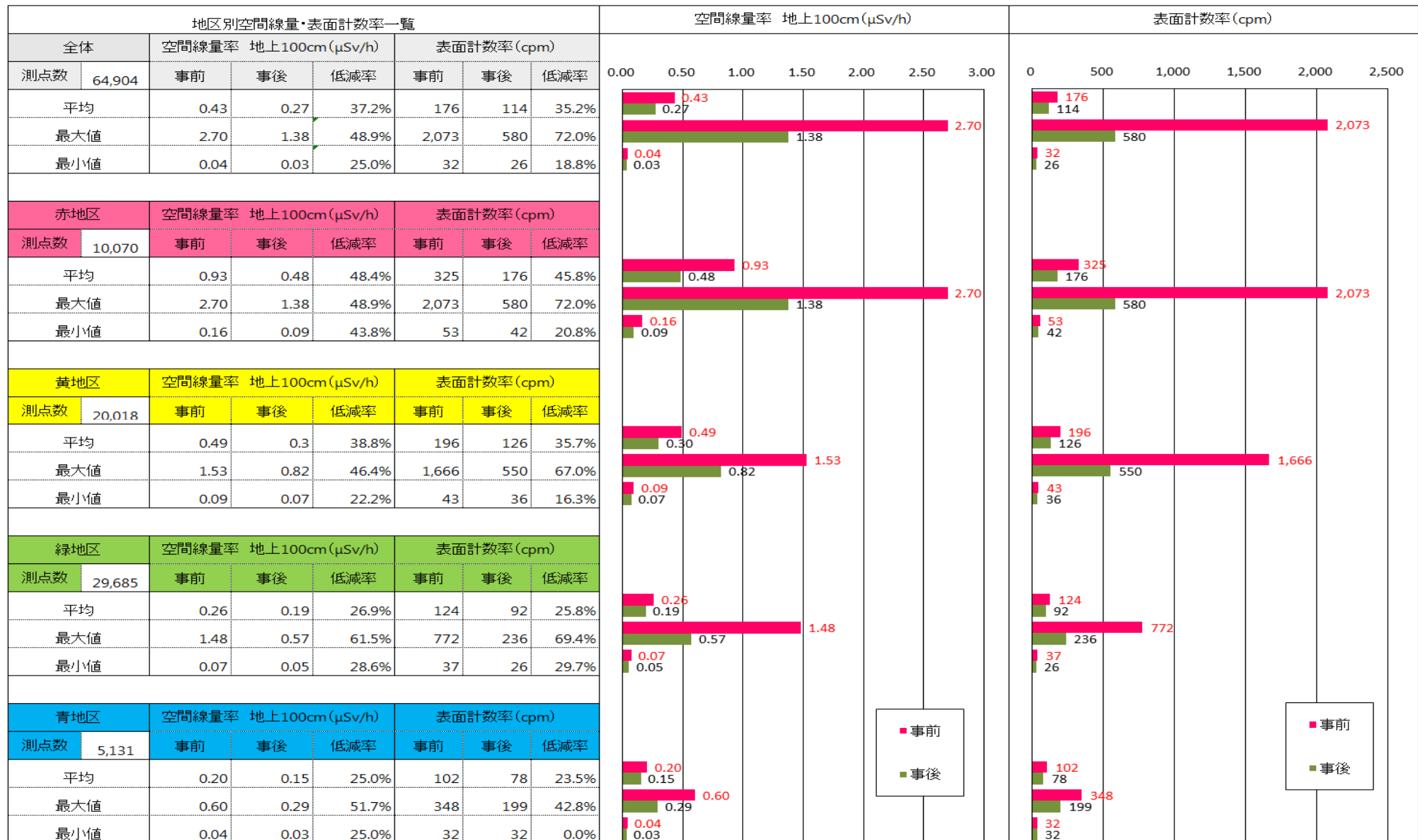


◆ 除染後空間線量率 地上1m ◆

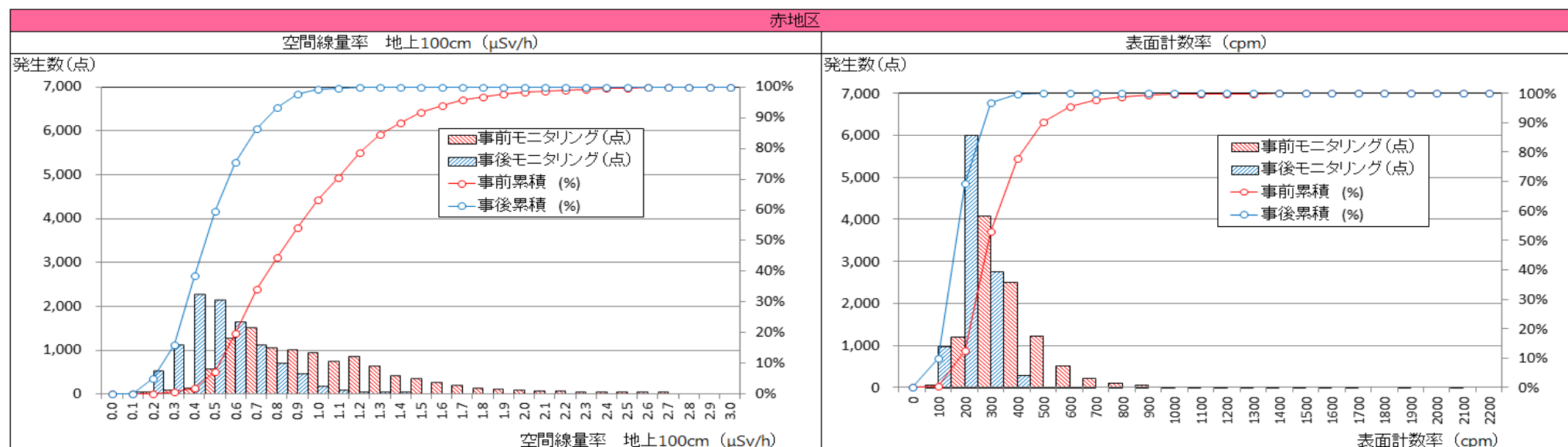
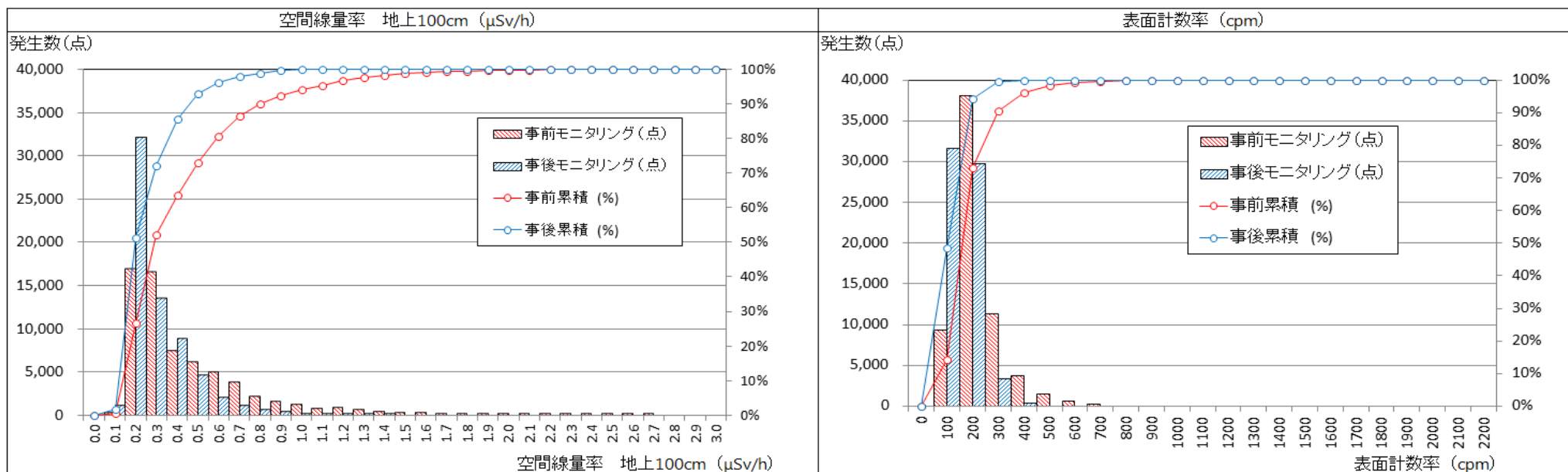


除染作業実施期間 平成26年8月1日~平成28年3月22日

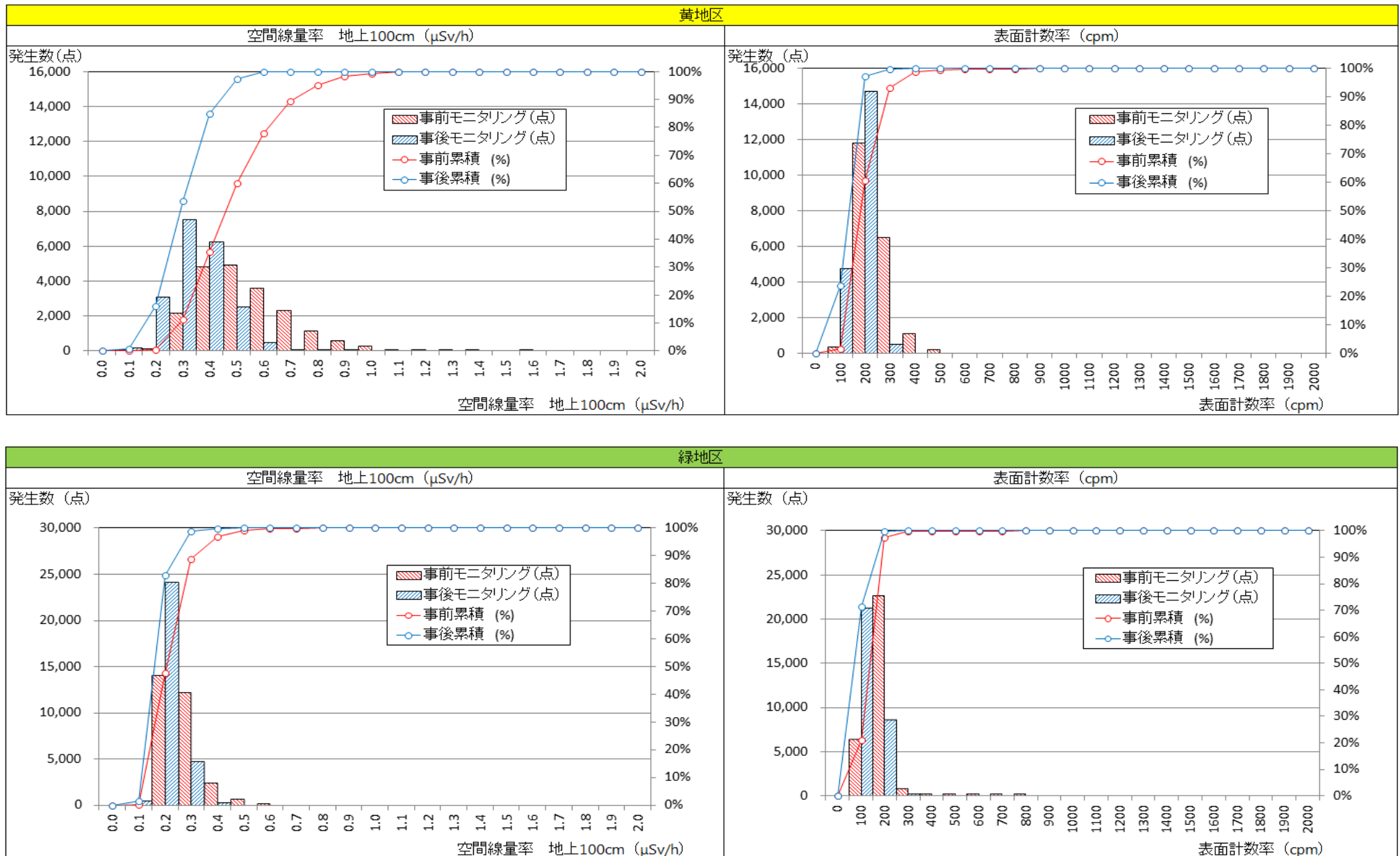
4. 農地 地区全体及び地区毎の除染の効果



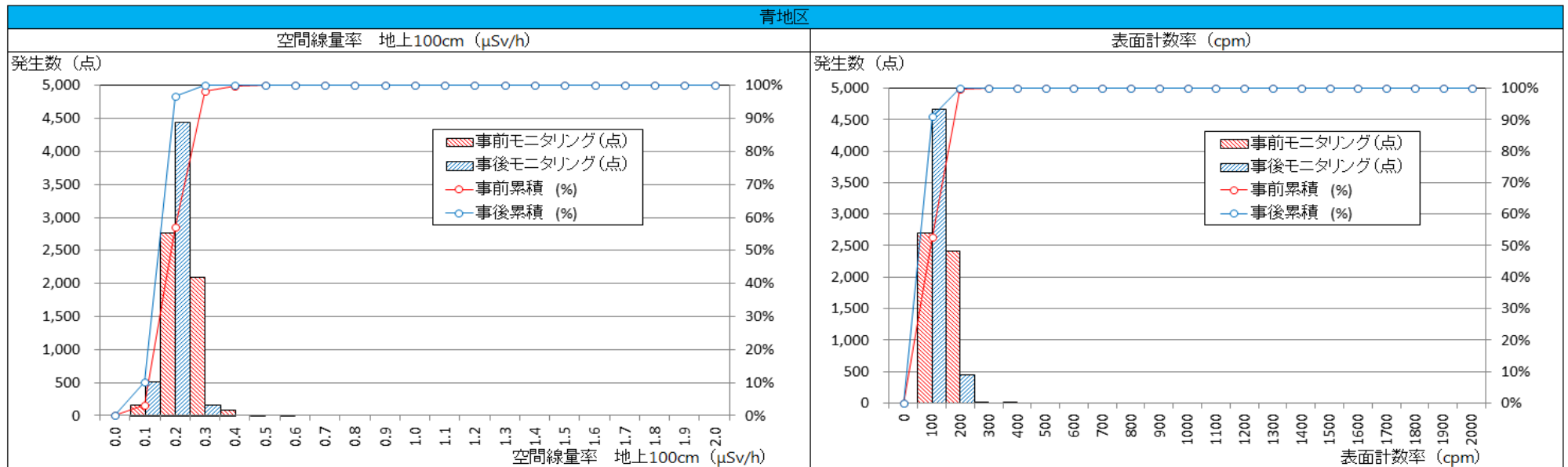
4-1. 農地 空間線量率等ヒストグラム(全体・赤地区)



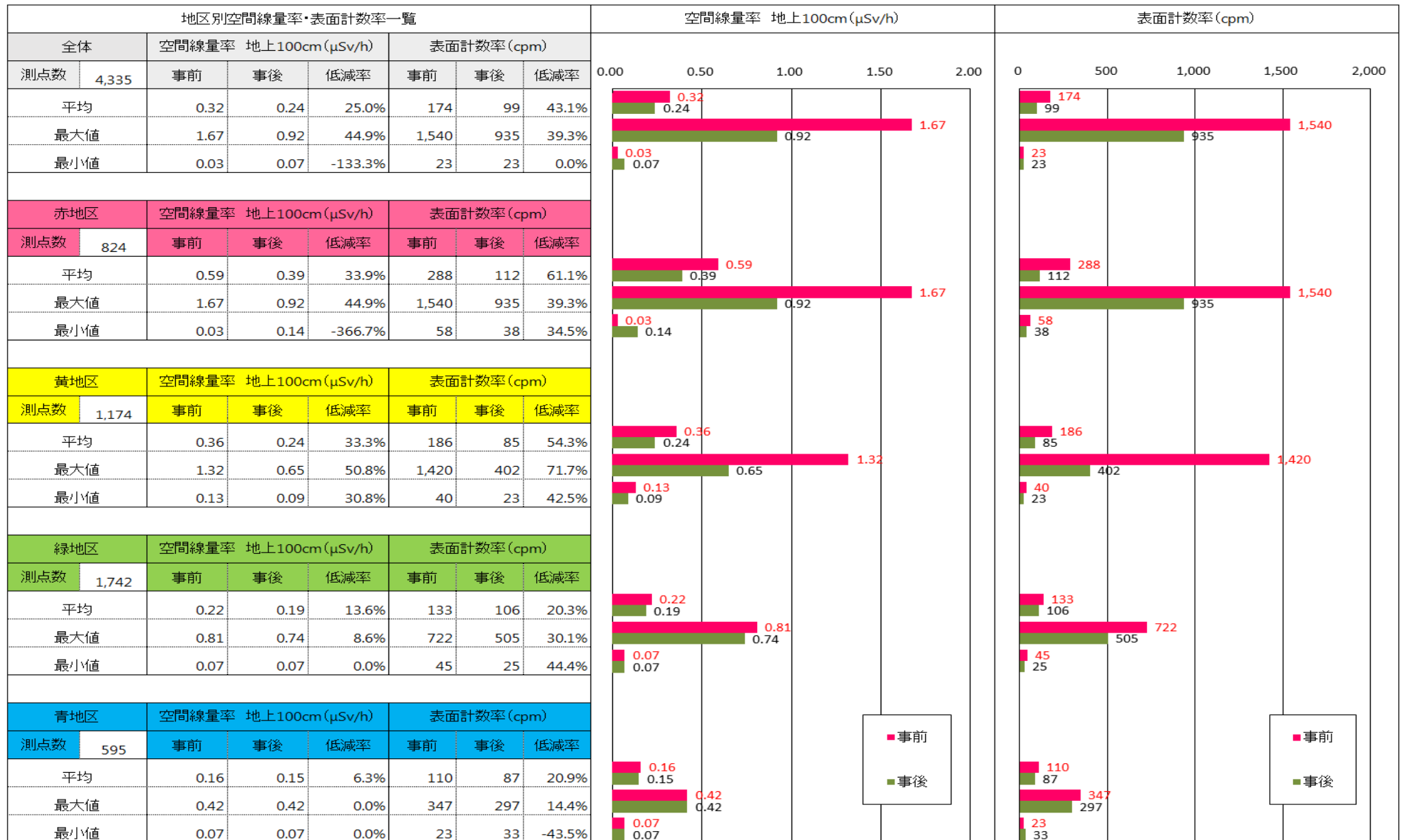
4-2. 農地 空間線量率等ヒストグラム(黄・緑地区)



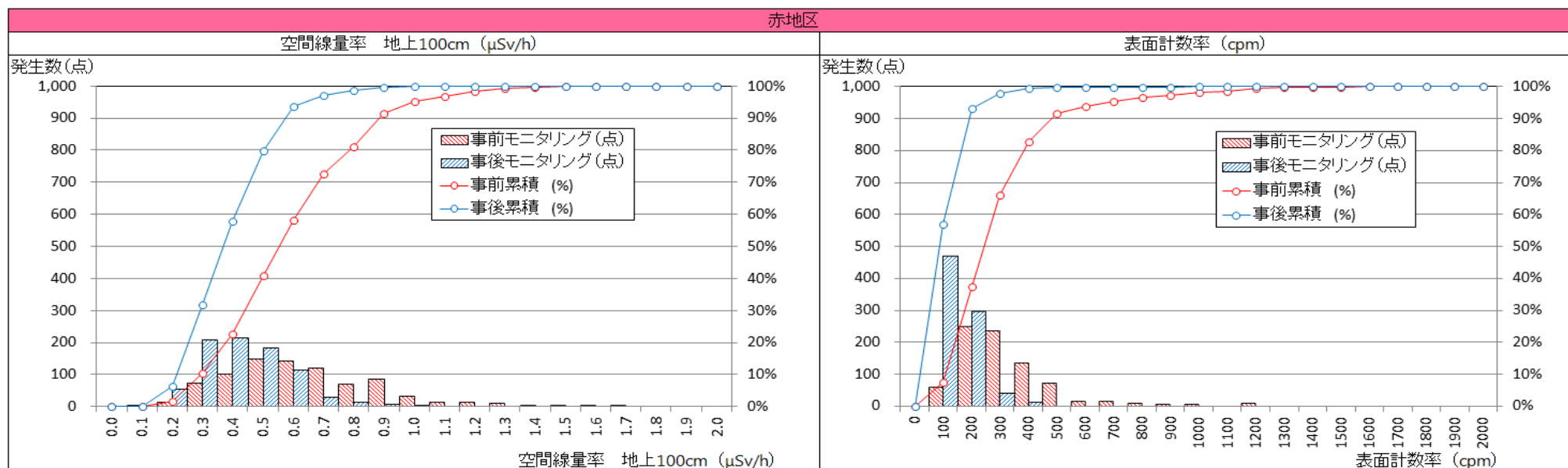
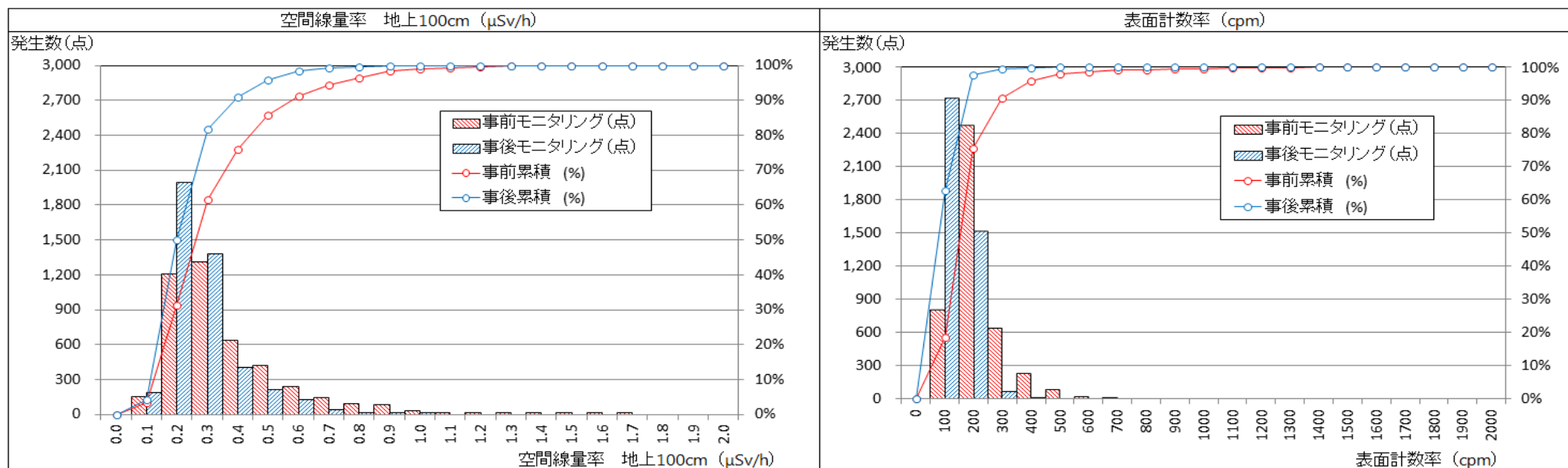
4-3. 農地 空間線量率等ヒストグラム(青地区)



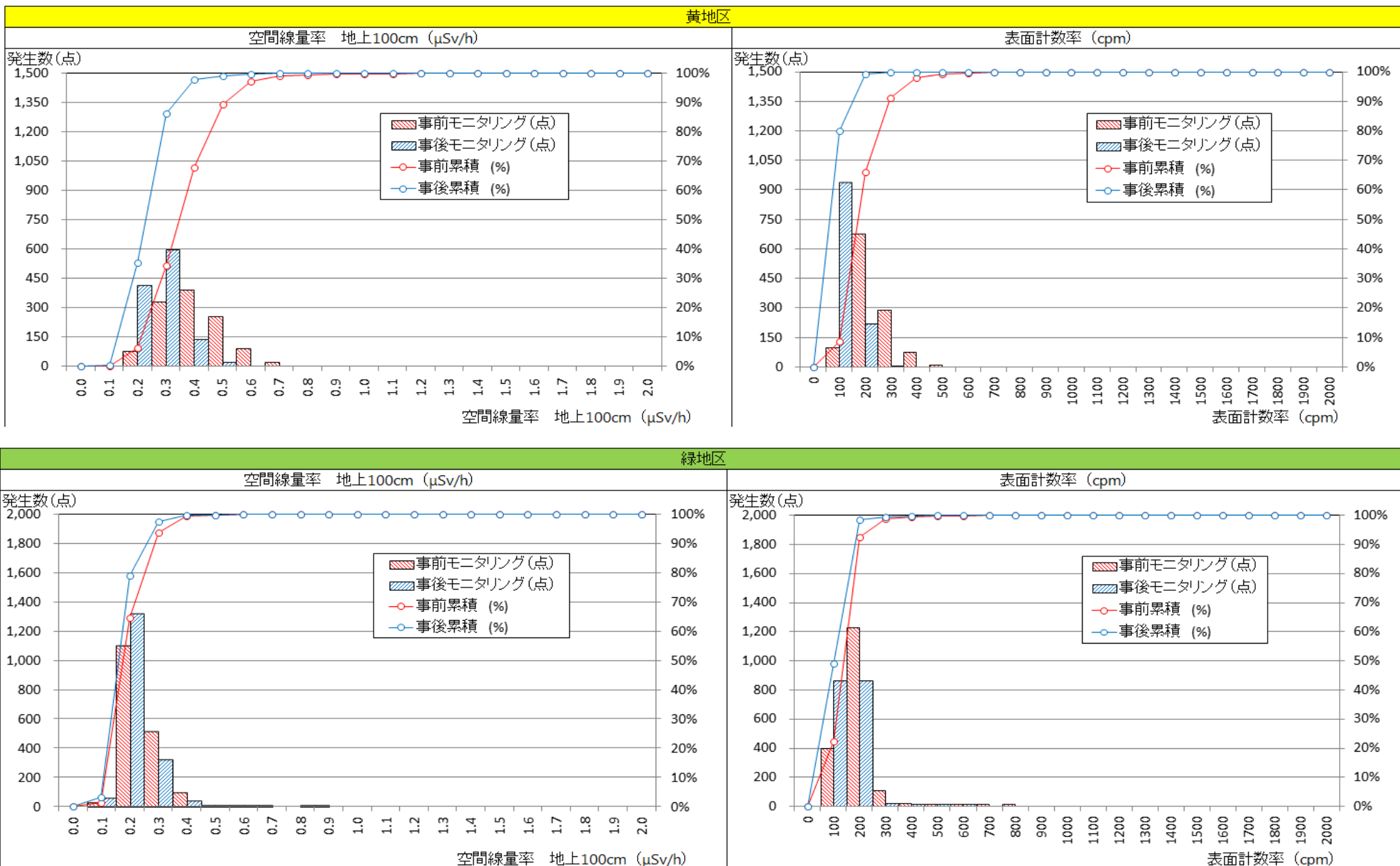
5. 農道 地区全体及び地区毎の除染の効果



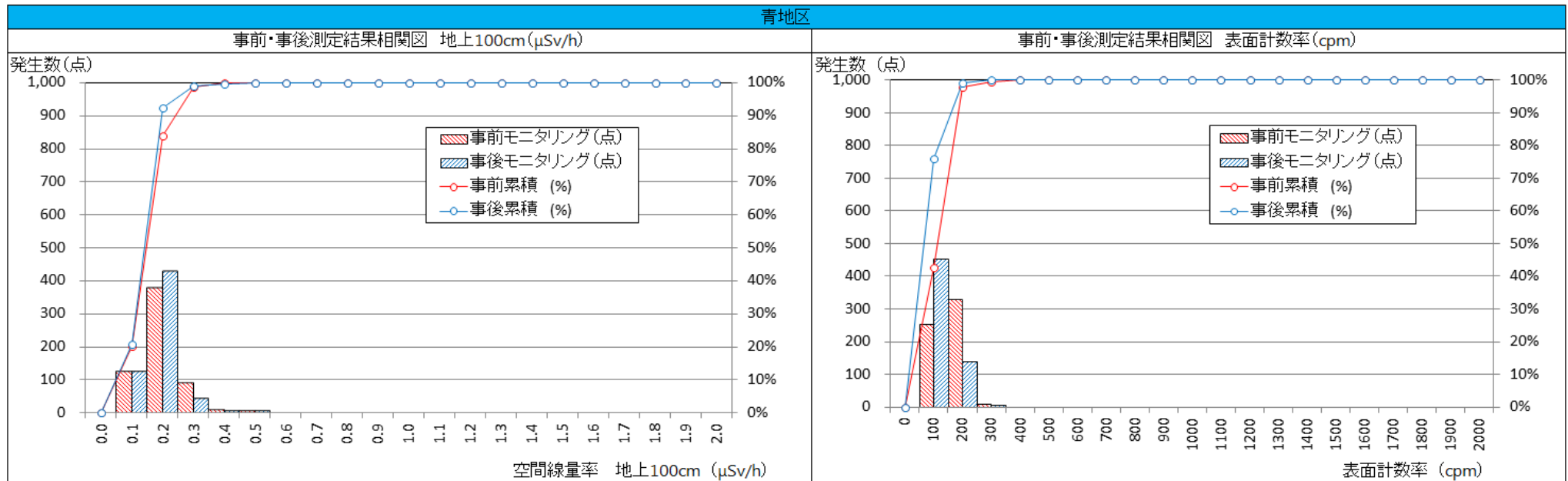
5-2. 農道 空間線量率等ヒストグラム(全体・赤地区)



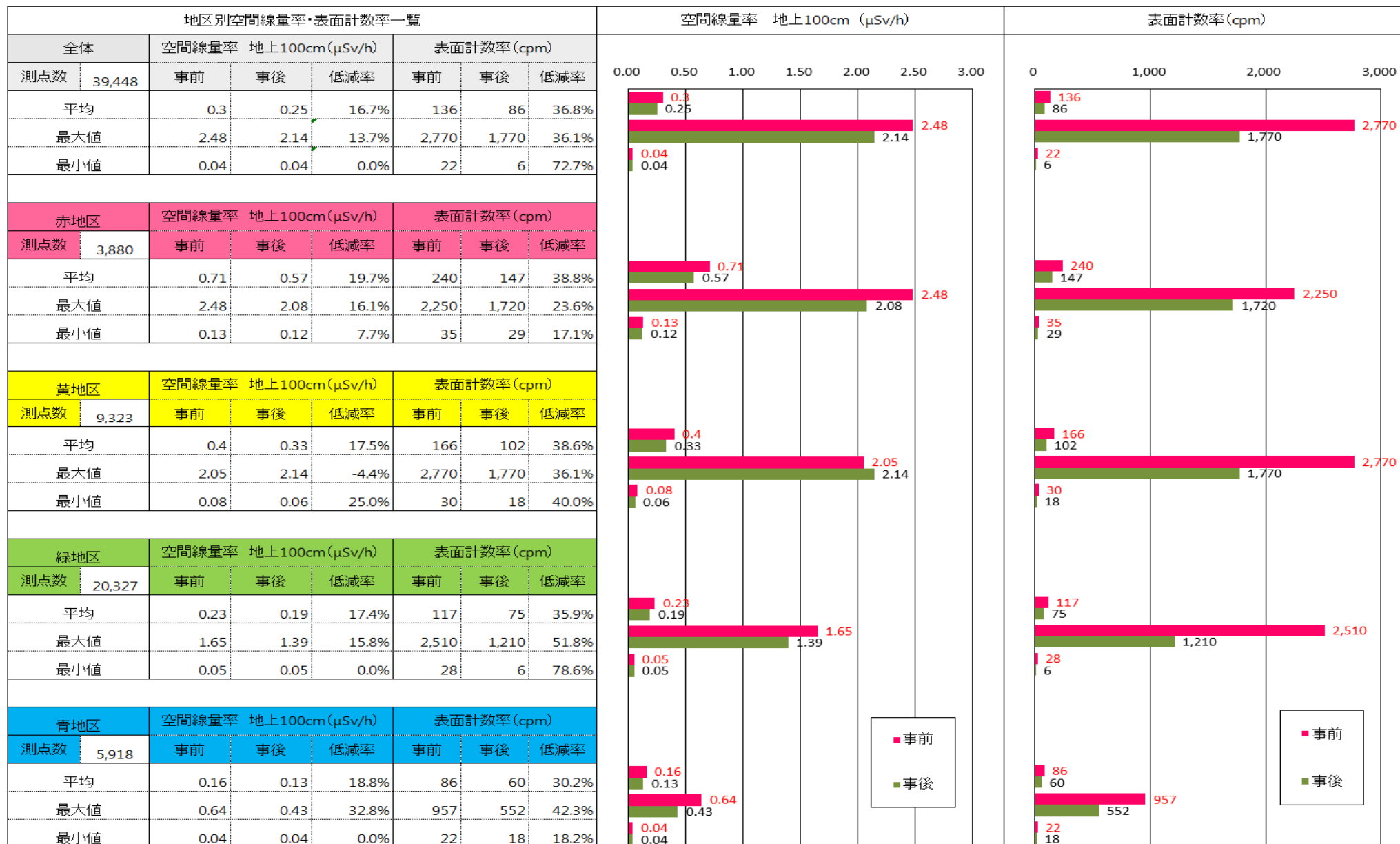
5-3. 農道 空間線量率等ヒストグラム(黄・緑地区)



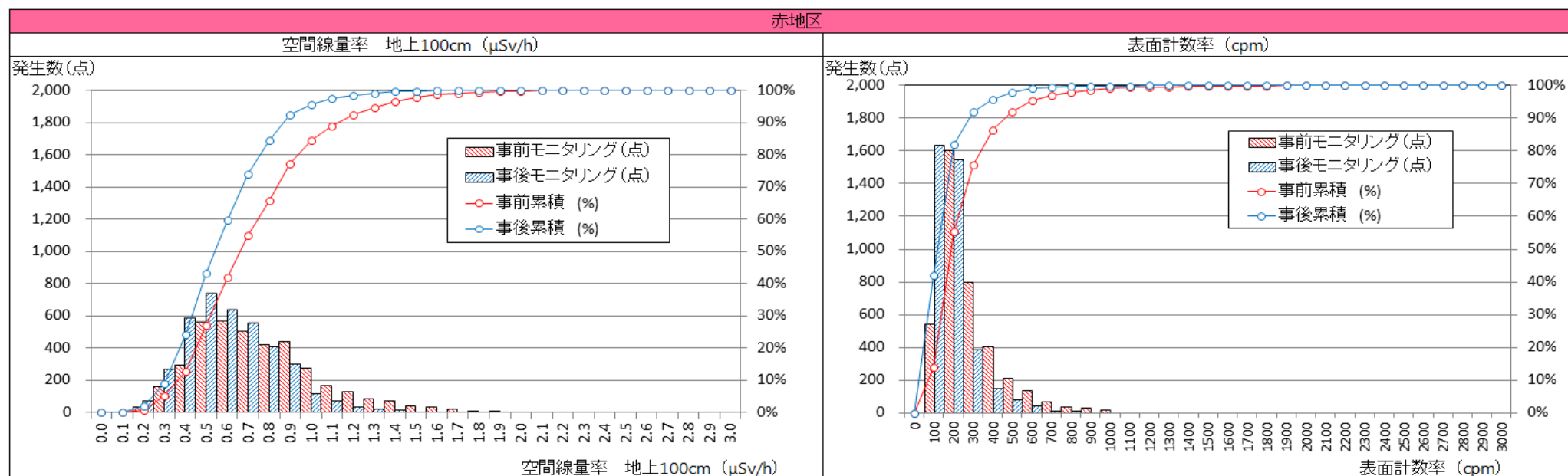
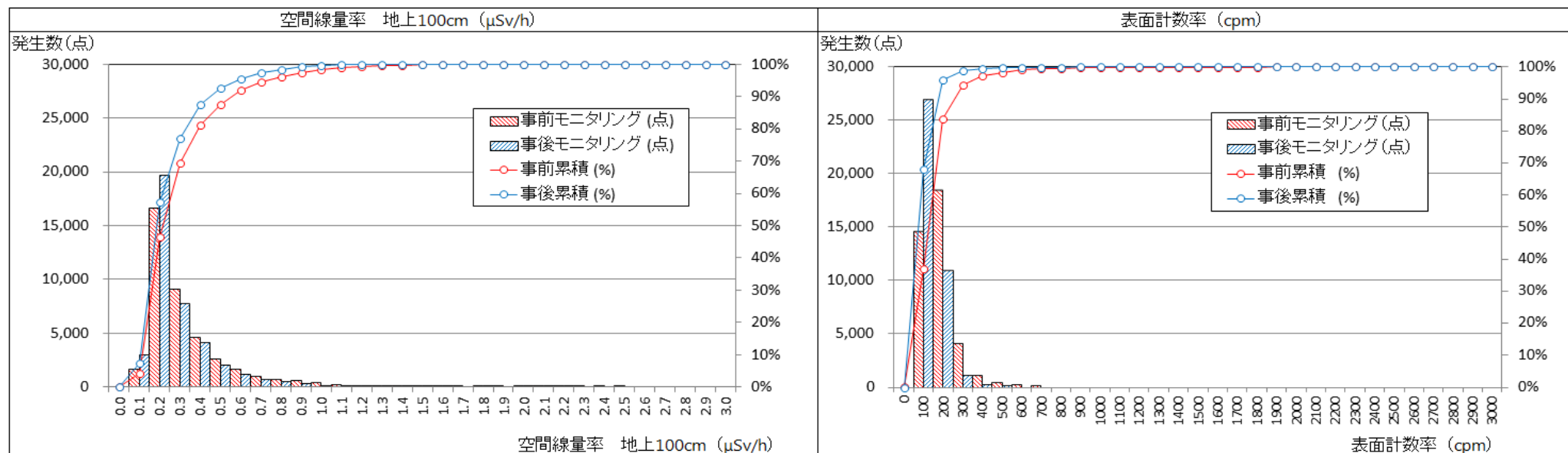
5-3. 農道 空間線量率等ヒストグラム(青地区)



6. 農業用水路 地区全体及び地区毎の除染の効果

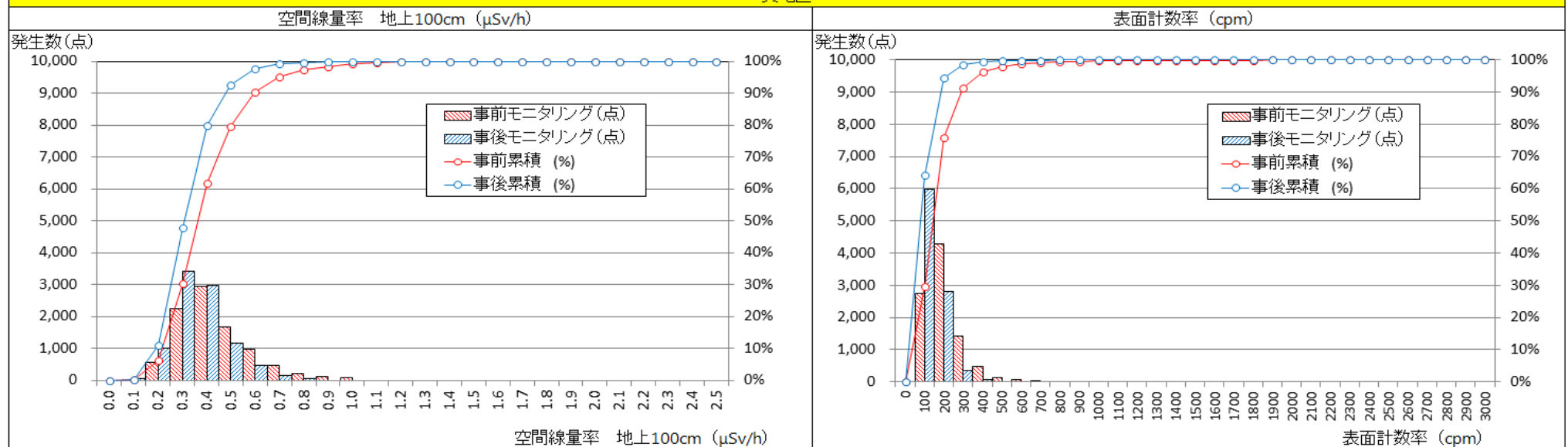


6-1. 農業用水路 空間線量率等ヒストグラム(全体・赤地区)

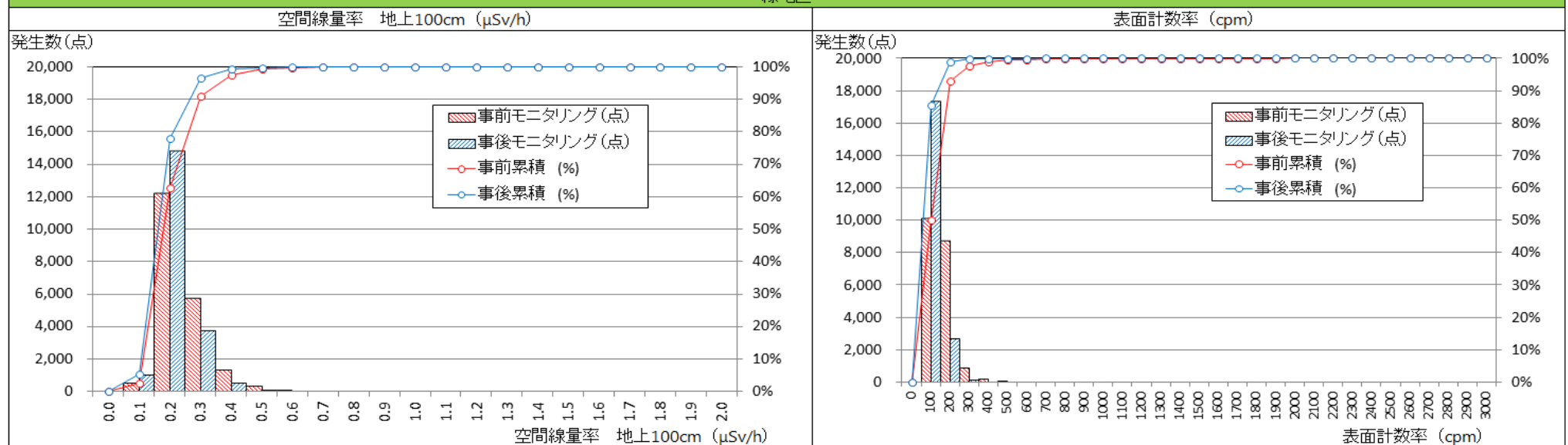


6-2. 農業用水路 空間線量率等ヒストグラム(黄・緑地区)

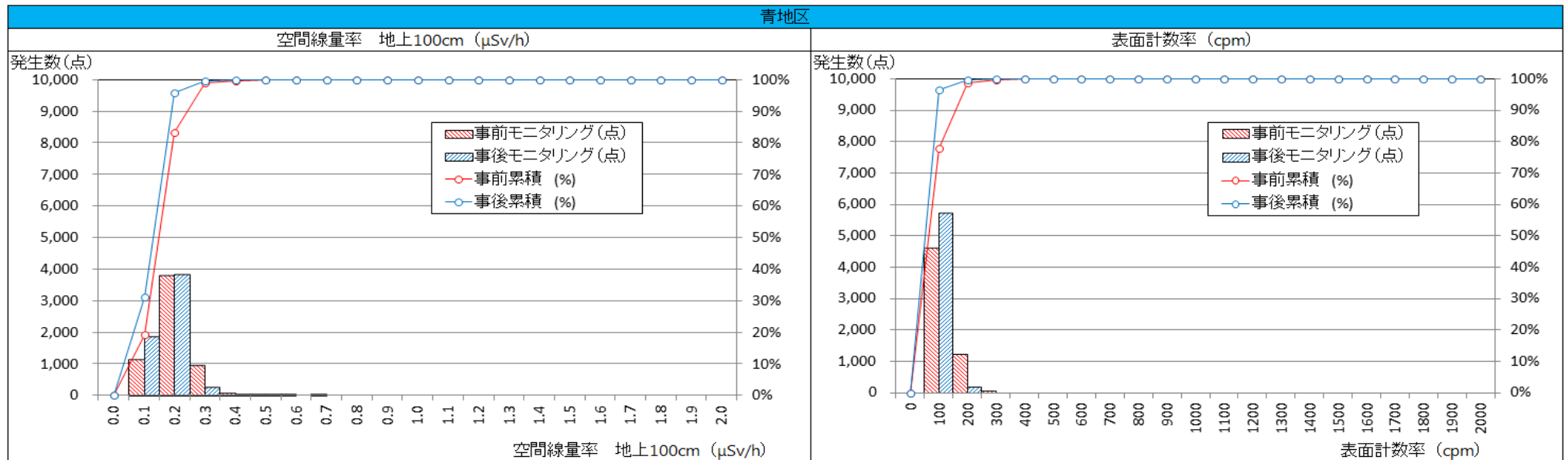
黄地区



緑地区



6-3. 農業用水路 空間線量率等ヒストグラム(青地区)



7. 除染の結果について

◆ 農地除染 ◆

空間線量率は、地区全体の平均で37.2%の低減となった。

地区毎に比較すると、赤地区では、48.4%と約半減の低減となり、黄・緑・青地区でも25%以上の低減率となった。

除染後の空間線量率は、平均で赤・黄地区は $0.23\mu\text{Sv/h}$ 以上であり、緑・青地区は $0.23\mu\text{Sv/h}$ を下回る結果となった。

表面計数率についても、全体で低減しており、低減率は空間線量率と同様の結果となった。

◆ 農道除染 ◆

空間線量率は、地区全体の平均で25%の低減となった。

地区毎に比較すると、線量率が高い地区ほど低減率が高く、赤地区は33.9%、青地区は6.3%の低減率となった。

除染後の空間線量率は、農地と同様に平均で赤・黄地区は $0.23\mu\text{Sv/h}$ 以上であり、緑・青地区は $0.23\mu\text{Sv/h}$ を下回る結果となった。

表面計数率についても、全体で低減しており、低減率は空間線量率と比べ高い結果となった。

7. 除染の結果について

◆ 水路除染 ◆

空間線量率は、地区全体の平均で16.7%の低減となった。

地区毎に比較すると、4地区が19.7%から17.4%の間で同様の低減率となった。

除染後の空間線量率は、農地、農道と同様に平均で赤・黄地区は $0.23\mu\text{Sv/h}$ 以上であり、緑・青地区は $0.23\mu\text{Sv/h}$ を下回る結果となった。

表面計数率についても、全体で低減しており、低減率は空間線量率と比べ高い結果となった。